

各団努力の結晶を解き放て！

表現練習開始

万博二日目・体育部門特集②



B組団長
山下鉄馬



D組団長
浅田紘一郎



C組団長
大野正太郎



A組団長
岩本隼弥

～実行委員新聞班～

ところで、この新聞を... 万博新聞を、どこか知ってるだろうか？ そう、万博実行委員新聞班だ。一年生女子2名、三年生女子2名の計4名で構成されている、附中専属のジャーナリスト。情報収集、取材、写真撮影、本文作成の繰り返しで目まぐるしい日々を過ごしている。

附中生に、附中万博に関わる最新の重要な情報を、早く、正確に伝えたいという一心で、私たち新聞班は活動を行ってきた。いつかどこかで私たちが見かけたらぜひ、カメラに向かって華麗なポーズをとってほしい。運が良ければ、この新聞に起用され掲載され、校内で一躍人気者になるだろう。

6月13日火曜。始めて表現練習が始まった。先月行われた集団行動カーニバルの団員である附中生が、久々に国ごとに集結し、喜びを分かち合うとともに、共に戦う仲間としてお互いを鼓舞し合った。表現とは、万博二日目マリニピックで、各国が太鼓の音に合わせて演舞をすることをさしている。国ごとにそれぞれ特色があり、とても見応えがある、附中の伝統の一つである。これまでの万博学習に加え、GWや昼休みなどの時間を駆使し、各国最高の表現を準備してきた。その表現を始めて団員に発表するという大切な時間を前に、団長をはじめとする表現者は険しい表情をしていた。そんな、表現を最前線で引張っていく団長計4名に、意気込みを取材した。内容は次の通りだ。

団員
再集結

団長への
取材に成功

岩本「今年の体育祭は例年とは違った体育祭になります。難しいところも多いと思いますが、がむしゃらに頑張ってください！」
山下「今年の集団行動カーニバルで身につけた、声・早さ・綺麗さで最高の表現をし、笑顔と感動を届けます。応援よろしくお祈ります！」
大野「今回の赤組のコンセプト・革命をおこし、去年より良い結果になるよう頑張ります。今年の新C組見ていてください！」
浅田「今年の白組は去年とは違います！今年こそ優勝し附中に伝説を残します。応援よろしくお祈ります！」
団長を筆頭に、各団全員が強い思いを抱いている。今回の表現も、大きな期待が寄せられることだろう。

一方WARIは？



さて、ここまで表現について書いてきたが、マリニピック運営事務局では、今どんな活動をしているのだろうか。
マリニピック実行委員である村竹さんによると、フィールドアート班・イベント班・アンテナショット班・メディアア班・オープンング班・エンディング班の六つの班に分かれ活動しているという。名前を聞くだけでも仕上がりが気になるものばかりだ。村竹さんは、取材の最後に「素晴らしい！ 第一マリニピックから進化させていきます。そして全員で今後超えられないようなマリニピックを創っていきたく思います！」と意気込みを語ってくれた。とても熱意を感じられ、さらに附中万博に期待が募ることとなった。

